

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和

印省略

第624回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）の
開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万1千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とする一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性革命）など、時代の要請にこたえた施策の展開を図っていくことが重要となっています。国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第624回建設技術講習会においては、道路行政では、最新の道路行政施策、道路の老朽化対策、道路防災・震災対策（災害対策基本法の改正）、交通安全対策、道路のストック効果、道の駅による地方創生の取り組み事例など、港湾・漁港行政では、最新の港湾・漁港行政施策、防災・減災対策、港湾施設の維持管理、港湾施設を核とした地域振興、環境対策、国際競争力の強化、港湾施設のストック効果などについて具体的な取り組みや最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久 印省略

第624回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成28年9月6日(火)～8日(木)、新潟市において標記講習会を開催いたします。この講習会の道路部門では、最新の道路行政施策、道路の老朽化対策、道路防災・震災対策（災害対策基本法の改正）、交通安全対策、道路のストック効果、道の駅による地方創生の取り組み事例など、港湾・漁港部門では、最新の港湾・漁港行政施策、防災・減災対策、港湾施設の維持管理、港湾施設を核とした地域振興、環境対策、国際競争力の強化、港湾施設のストック効果を学び、最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は新潟県・新潟市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

一般（非会員）		会員	
一般（非会員）（下記以外の者）	18,400円	—	—
新潟県内の国・県・政令市に勤務	13,400円	正会員、特別会員、賛助会員（下記以外の者）	13,400円
新潟県内の市町村に勤務	2,000円	30歳未満〔全国〕	2,000円
		地元〔新潟県内の国・県・政令市及び特別会員〕	
地元学生	0円	新潟県内の市町村に勤務	0円

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満〔全国〕及び地元〔新潟県内の国・県・政令市に勤務、特別会員〕は割引価格のため、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,100円〔うち昼食代1,200円〕

※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「624」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成28年8月19日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

① 平成28年8月26日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
② 平成28年9月2日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

・本講習会は、本会実施の「全建CPD（継続教育）制度」の認定講習会として【聴講：8.5単位、現場研修：3単位】が取得できます。

・講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第624回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）日程

～道路行政及び港湾・漁港行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組み事例などを学ぶ～

(道 路) 最新の道路行政施策、道路の老朽化対策、道路防災・震災対策（災害対策基本法の改正）、交通安全対策、道路のストック効果、道の駅による地方創生の取り組み事例 など
 (港 湾・漁 港) 最新の港湾・漁港行政施策、防災・減災対策、港湾施設の維持管理、港湾施設を核とした地域振興、環境対策、国際競争力の強化 港湾施設のストック効果 など

会場 …… 【合同／(2日) 道路】 新潟ユニゾンプラザ (1階多目的ホール)
 【(2日) 港湾・漁港】 " (4階大会議室)
 〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 TEL025-281-5511(代)



(1日目) 開場11:40		平成28年9月6日(火) 【合同】多目的ホール	(敬称略)
12:40	あいさつ	新潟県知事	泉 田 裕 彦
13:00		新潟市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	篠 田 昭 男 秋 山 幸 男
13:00	【全建70周年記念 基調講演】		
14:00	今後の建設行政と公務員技術者の役割	埼玉県副知事	岩 崎 康 夫
14:10	いま社会資本に何が求められているのか	(公社)土木学会計画学研究小委員会 委員	吉 田 正
15:10		((株)スマートインフラ総合研究所 所長)	
15:20	【地域事業の紹介①】		
15:50	新潟県の国道ネットワーク整備について ～一般国道7号 栗の木道路・紫竹山道路整備事業～	国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所 所長	大 江 真 弘
15:50	【地域事業の紹介②】		
16:20	新潟港の目指すべき将来像とその実現に向けた 取り組みについて	新潟県交通政策局港湾整備課 計画調査係長	田 口 浩 司
16:20	【地域事業の紹介③】		
16:50	早川堀通り 水と緑のみちづくり推進事業について	新潟市都市政策部まちづくり推進課 主幹	加 藤 絵 美
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞ (18:00～19:30(予定))		ホテルラングウッド新潟 4階「越後・東の間」 TEL025-240-2111	
(2日目) 開場 9:00		9月7日(水) 【道路部門】多目的ホール	(敬称略)
9:40	道路行政における主要政策課題について	国土交通省道路局企画課 道路計画調整官	水 野 宏 治
10:40			
10:50	道路の老朽化対策の取り組みについて	国土交通省道路局国道・防災課道路保全企画室 企画専門官	森 下 博 之
11:50			
13:00	道路の防災対策・震災対策について	国土交通省道路局国道・防災課道路防災対策室 企画専門官	志々田 武 幸
14:00			
14:10	交通安全対策をめぐる最近の動向について	国土交通省道路局環境安全課道路交通安全対策室 室長	酒 井 洋 一
15:10			
15:20	高速道路の料金施策・ストック効果について	国土交通省道路局高速道路課 高速道路事業調整官	松 本 健
16:20			
16:20	閉会のあいさつ	新潟県建設技術協会 会長 (新潟県土木部技監)	中 田 一 男
(2日目) 開場 9:00		9月7日(水) 【港湾・漁港部門】大会議室	(敬称略)
9:40	港湾行政における主要政策課題について	国土交通省港湾局計画課企画室 専門官	滝 川 尚 樹
10:40			
10:50	最近のクルーズの状況と課題について	国土交通省港湾局産業港湾課クルーズ振興室 室長	石 原 洋
11:50			
13:00	港湾施設の維持管理に関する取り組みについて	国土交通省港湾局技術企画課港湾保全政策室 室長	佐 藤 敬
14:00			
14:10	港湾における防災・減災対策について	国土交通省港湾局海岸・防災課災害対策室 室長	野 澤 良 一
15:10			
15:20	漁港漁場行政における最新情報について	水産庁漁港漁場整備部計画課 課長補佐	内 田 智
16:20			
16:20	閉会のあいさつ	新潟市建設技術協会 会長 (新潟市下水道部長)	岡 田 義 明
(3日目) 集合 8:00～		9月8日(木) 【現場研修】	

JR新潟駅南口(PLAKA1前) (8:30) 出発

→ 一般国道7号 栗の木道路・紫竹山道路整備事業(下車説明) → 新潟西海岸 侵食対策事業(下車説明)

→ 早川堀通り水と緑のみちづくり推進事業[H26年度全建賞](下車説明)

→ 昼食(新潟市内) → 新潟港(東港区)(下車説明) → 新潟空港(15:30)/新潟駅(16:10) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第624回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 一般国道7号 栗の木道路・紫竹山道路整備事業 …………… 新潟市中央区沼垂東～紫竹山

栗ノ木バイパスは、新潟県新潟市中央区万代島地内の万国橋交差点から、同区紫竹山三丁目地内の紫竹山ICに至るバイパス道路で、全線が新潟市の都市計画道路の計画路線および整備路線に指定されています。国道区間のうち、事業名称で「栗ノ木道路」及び「紫竹山道路」として、バイパスの一部を連続立体交差化する事業が進められています。



一般国道7号は、新潟市中心部へアクセスする道路のうち、紫竹山IC～栗ノ木橋交差点間の交通量が最も多く、朝夕を中心に著しい渋滞が発生しているとともに死傷事故が多発しており、特に安全性の確保が課題となっています。交差点の立体化により、交通の流れがスムーズになり、笹越橋交差点や紫雲橋交差点、紫竹山交差点等の慢性的な渋滞が緩和するとともに、直進車と右左折車が分離されることにより、笹越橋交差点・馬越交差点や紫竹山交差点等の交通事故の減少が期待されています。

また、万代・新潟駅周辺等の商業業務地区へのアクセス利便性が向上し、まちづくりを支援や“広い幅員”と“高架構造”の道路整備により、標高の低い地域が多い新潟市中心部のまちづくりにおいて求められる防災機能強化策として、被災時の“避難空間の創出”と“緊急輸送路の確保”の一翼を担うことが期待されています。

(視察キーワード：交通ネットワーク、都市防災、地域活性化等)

2. 新潟西海岸 侵食対策事業 …………… 新潟市中央区

新潟西海岸は、信濃川河口部左岸より関屋分水までの約6kmの間に位置し、明治頃までは信濃川から供給された豊富な土砂の堆積により発達してきた海岸です。明治以降、河川改修による流送土砂の減少、河口突堤の整備による供給土砂の遮断、更に急激な地盤沈下などにより、河口部に位置する新潟西海岸では、海岸汀線の後退が始まり、明治の後半から昭和の後半に至るまでに、最大約350mもの後退を余儀なくされました。



侵食対策工事は、昭和の初めから始まり、縦堤や離岸堤を設置してきましたが、現実には多くの被災、構造物の沈下、飛散等を経験し、その都度復旧と改良が加えられ、この機能を維持するためには、半永久的な補強工事が必要とされました。また、離岸堤の沖合の広い範囲では、依然として海底面の侵食が進んでおり、将来的には離岸堤の倒壊にも繋がりがかねない状況にありました。

このため、新潟西海岸の新たな海岸侵食対策として、海岸地形をより安定的、持続的に防護、維持し、且つ、より快適で潤いある海岸環境の創出が可能となる『面的防護工法』を導入することとし、昭和61年度より本工法による侵食対策事業を実施しています。

この面的防護工法とは、約500m沖合の潜堤及び海岸から直角に伸びる突堤等の構造物を複合的に配置し、さらに潜堤背後に砂浜を造成する工法です。従来の工法が海岸侵食の主要因である波浪を浅海域の離岸堤で一気に遮断するのに対し、面的防護工法は、沖合の幅広天端の潜堤及び砂浜等により波のエネルギーを漸次減衰させる方式であり、潜堤前面の海底面を含め海岸地形を安定的に維持することが可能です。また、広い静穏水域と幅の広い砂浜が創出されることから、親水空間等として、より多様な機能の導入や利用が可能となります。

(視察キーワード：治水、自然環境等)

3. 早川堀通り 水と緑のみちづくり推進事業 [H26年度全建賞] …………… 新潟市中央区

早川堀通りは、1級市道古町通柳島町線の一部で、国の重要文化財「旧新潟税関庁舎」と市指定文化財「旧小澤家住宅」を結ぶ重要な通りです。市内に縦横に張り巡らされていた堀割は、新潟湊に北前船が往来した江戸時代から、湊町新潟の発展を支えていましたが、車社会の到来とともに、堀は昭和39年に全て埋められ、ほとんどが道路になりました。



その後、堀と柳があったかつての景観の復活を望む声が高まり、その中で浮上した候補地の一つが早川堀でした。平成18年6月に地元住民による勉強会「早川堀通り周辺まちづくりを考える会」が組織され、事業完了までに333回もの議論がなされました。事業実施にあたり、

基本理念である「住民を置き去りにしない」に沿って、住民との対話による議論を重ね、4車線の車道を2車線に狭め、歩道の拡幅と合わせ、かつての堀をイメージした水路を整備することが決まりました。対話の中で、下町地区が自慢できる町に、また、湊町新潟の顔となるよう、水路の水深や植栽の種類、舗装材の色や材質、照明の照度に至るまで、湊町の風情や景観をどのようにつくり出すか徹底的に議論され、実証実験なども交えながら検討を行いました。計画から施工に至るまで、さまざまな反対意見や要望が多く寄せられましたが、その都度、個別訪問や説明会などで丁寧に対応したことにより、地域住民との信頼関係を築くことができ、電線類地中化を含む約640mの改良工事を約3年で完了することができました。平成26年5月に整備は完了し、現在は維持管理協定に基づき、地域住民による維持管理が行われています。当初は反対の立場であった方も、自宅前の水辺の清掃を自主的に行うようになり、通りの整備に合わせて自宅や塀を改修するなど、住民の意識も変わってきています。

なお、この事業は、道路空間の再配分に併せ、かつて市内に張り巡らされ昭和39年までに埋め立てられた堀割水路をイメージした水辺の整備を行うなど、歴史的なまちなみと調和する素材を用いた良好な景観づくりが行われた点が高く評価され、「平成26年度全建賞」を受賞しました。

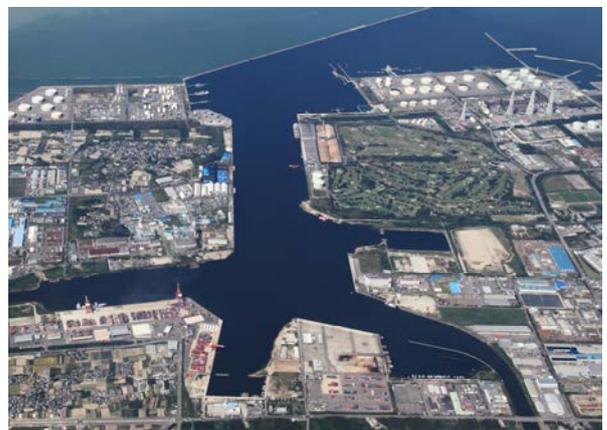
(視察キーワード：住民参加、歴史的街並み、景観、全建賞等)

4. 新潟港（東港区） …………… 新潟市北区～北蒲原郡聖籠町

新潟港は日本海沿岸のほぼ中央に位置し、本州日本海側唯一の政令指定都市である新潟市を背後に擁し、明治元年(1869年)の開港以来、新潟県及び周辺地域の人流・物流の拠点として重要な役割を果たしています。

昭和42年には日本海側初の特定重要港湾に指定され、平成7年には日本海側唯一の中核国際港湾に、そして平成23年には日本海側の総合的拠点港に位置づけられるなど、日本海側を代表する港として発展してきました。

今日の新潟港は、人流中心の西港区と、物流中心の東港区という機能分担のもと、港湾機能の充実を図っています。



東港区は昭和44年に開港した掘り込み港湾で、周辺に多くの企業が立地し臨海工業地帯を形成している他、

LNG、木材、完成自動車、穀物等の様々な貨物を取り扱う、国際物流拠点・エネルギー拠点として発展を続けています。また、対岸諸国との定期コンテナ航路が充実し、本州日本海側最大のコンテナターミナルとして重要な役割を担っています。近年、対岸諸国との取引の活発化により、コンテナ貨物取扱量が順調に増加する一方で、岸壁数の不足によりコンテナ船の沖待ちが深刻化したことから、これを解消するとともに、大規模地震発生時においてもコンテナ輸送機能が維持できるよう、耐震強化岸壁を整備し、平成24年6月に完成しました。さらに、魅力的で競争力のある港づくりを目指し、民の視点を取り入れた効率的な港湾運営を推進するため、平成26年度から(株)新潟国際貿易ターミナルを運営会社に指定し、船社や荷主への柔軟なサービスの提供などにより、選ばれるコンテナターミナルの実現に向け取り組んでいます。

また、平成27年3月に15年ぶりに港湾計画の改訂を実施し、東港区に係る改訂では、コンテナ貨物増加に対応する外貿コンテナターミナル拡張、国際輸送モードの多様化を実現するための国際RORO船に対応した機能強化、クルーズ船受入れ体制の確保、太平洋側のバックアップ機能を担う国際海上コンテナ輸送等に対応したターミナルの防災拠点機能の強化等を位置づけました。昨年度、南ふ頭木材岸壁において、大型クルーズ船受入れのための機能強化を行い、これにより、今年5月に本県では過去最大となる7万5千トン級のクルーズ船が入港しました。

(視察キーワード：国際物流拠点等)

第624回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には新潟市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成28年9月5日(月), 6日(火), 7日(水)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルラングウッド新潟	新潟市中央区笹口1-1 TEL025-240-2111	シングル	30名	7,500円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

広域図



駅周辺図



会場周辺図



新潟駅万代口バスターミナル8番
『S2鳥屋野線』『S3水島町線』
『S4上所線』など
ユニゾンプラザ前下車
約10～20分 210円

〔新潟空港から新潟駅までは、直通運行の
空港リムジンバス(約25分, 410円, 概ね
20分間隔で運行)のご利用が便利です。〕

2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

平成28年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名、会社名)

第624回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			部門別		現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳 未 満	道 路	港 湾 ・ 漁 港			予約日に○を 記入して下さい		
							9月 5日	6日	7日			
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)							↑ 現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※		宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 いください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してくだ さい。			
現場研修料 名×7,100円＝ 円 計 円												

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までにメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかる場合があります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

第624回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の連携・交流を図るとともに、講演いただく講師の方にもご参加いただき、直接質疑や意見交換を図り、今後の業務に役立てていただくことを目的に実施しています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時 : 平成28年9月6日(火) 18:00~19:30(予定)
(第624回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所 : ホテルラングウッド新潟4階「越後・東の間」(予定)
※開催場所が変更になる場合がありますので、当日ご確認ください。

会費 : 2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催時間は変更が生じることもありますので、講習会場にてご案内いたします。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

・埼玉県副知事	岩崎 康夫	講師
・(公社)土木学会計画学研究小委員会 委員	吉田 正	講師
・国土交通省道路局企画課 道路計画調整官	水野 宏治	講師
・国土交通省道路局国道・防災課道路保全企画室 企画専門官	森下 博之	講師
・国土交通省港湾局計画課企画室 専門官	石原 洋	講師
・国土交通省港湾局産業港湾課クルーズ振興室 室長	佐藤 敬	講師
・国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所 所長	大江 真弘	講師
・新潟県交通政策局港湾整備課 計画調査係長	田口 浩司	講師

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com